メモリーナビゲーション内蔵CD／ワンセグ 7.0AVシステム

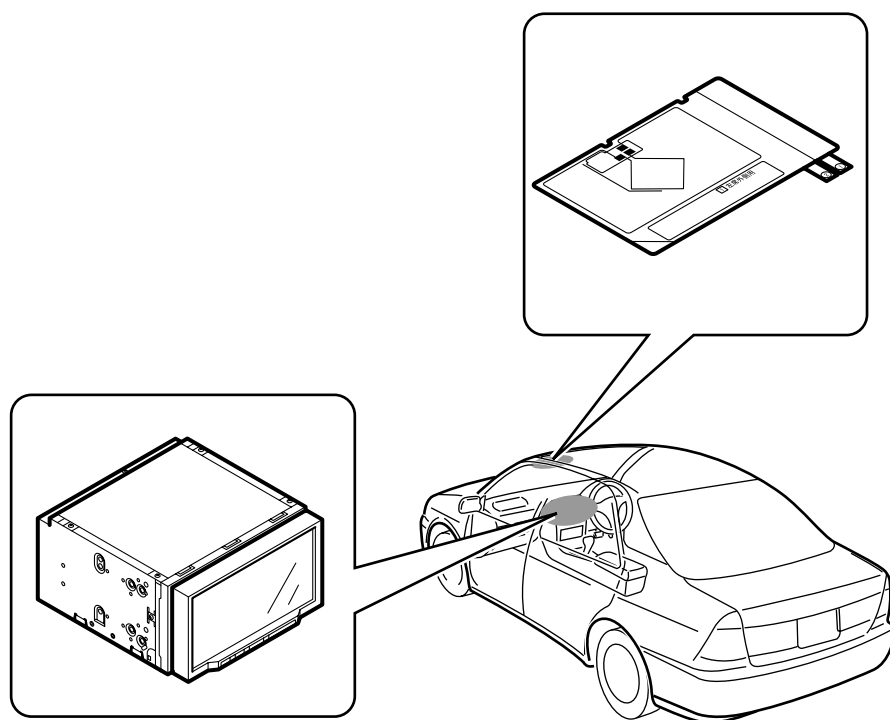
取付説明書

090003-3099B700

お客さまへのお願い

●取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
●指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
●本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。
●安全運転のため、ご使用の前に**「取扱説明書」、「取付説明書」**をよくお読みうえ、正しくお使いください。
●**「取扱説明書」、「取付説明書」**をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ー販売店様へー
取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

取付概要図

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

●本体関係

❶ メインユニット ×1	❷ 接続コード（16P） ×1	❸ 接続コード（5P） ×1
❹ 六角ボルト（赤色）（M5×8） ×4	❺ 皿ねじ（赤色）（M5×8） ×8	❻ バンドクランプ ×7
❼ ハーネス固定テープ ×1	❽ ショートコネクタ ×3	❾ 地図SDカード ×1

●フィルムアンテナ関係

❿ フィルムアンテナ ×1	⓫ GPS・ワンセグ TVアンテナコード ×1	⓬ クリーナ ×1

※その他の構成部品（取扱説明書、取付説明書、保証書などの資料類）

●作業の前に

●取り付ける前に構成部品をご確認ください。
●取り付けには、一般工具のほか、はさみやカッターナイフ、布きれが必要です。
●ねじやボルト、ナットの取り付けには、寸法の合う工具をお使いください。
●別売の外部機器を接続する場合には、必ず指定品をお使いのうえ、各機器の取付説明書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

●作業の進め方

1）バッテリーの⊖端子を外す
2）接続を確認する　（☞接続のしかた）
（☞システム接続例）
3）フィルムアンテナを取り付ける　（☞取付と配線）
4）配線する
5）メインユニットを取り付ける
6）バッテリーの⊖端子を元に戻す
7）作動確認をする　（☞取り付け後の作動確認）

●安全に正しくお使いいただくために

お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意
この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

❗：しなければならないことを表しています。
🚫：してはいけないことを表しています。
⚠：注意をしなければならないことを表しています。

●本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

アドバイス　この表示は、本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと、知っておくと便利なこと、知っておいていただきたい内容を示しています。

⚠警告

❗ **本機はDC12V アース車専用です。**
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災の原因となります。

❗ **取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずす。**
プラスとマイナス経路のショートによる感電や怪我の原因となります。

🚫 **本機を次のような場所には取り付けない。**
本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。

⚠ **車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行う。**
車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないよう注意して行う。火災の原因となります。

❗ **ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。**
破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

🚫 **車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。**
保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。

🚫 **本機を分解したり、改造しない。**
事故、火災、感電の原因となります。

❗ **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。**
規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

🚫 **画面が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しない。**
そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。

❗ **万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。**
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

🚫 **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしない。**
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行う。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。

🚫 **電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。**
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

❗ **接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。**
ショートにより火災、感電の原因となります。

❗ **コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。**
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。

⚠警告

❗ **取付説明書で指定された通りに接続する。**
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

⚠注意

❗ **本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。**
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

❗ **必ず付属の部品を指定通り使用する。**
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。

🚫 **雨が吹き込むところなどの水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避ける。**
本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

🚫 **しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避ける。**
本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。

🚫 **直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けない。**
金属部分が高温になり、火傷をする可能性があります。
また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

🚫 **本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがない。**
通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

⚠ **車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線する。**
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

❗ **コードが金属部に触れないように配線する。**
金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。

❗ **コードの配線は、高温部を避けて行う。**
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。

🚫 **コード類を決して切断しない。**
コード類には、ヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

🚫 **電源用リード線をバッテリーに直接接続しない。**
機器を動作させるための電流容量が不足して、バッテリーから直接、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。

⚠ **コード等の車内への引き込みは、十分注意する。**
雨、水の車内への浸入を防ぐためコード等の車内への引き込みには十分気をつけて作業を行ってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となることがあります。

🚫 **本機を車載用として以外は使用しない。**
感電や怪我の原因となることがあります。

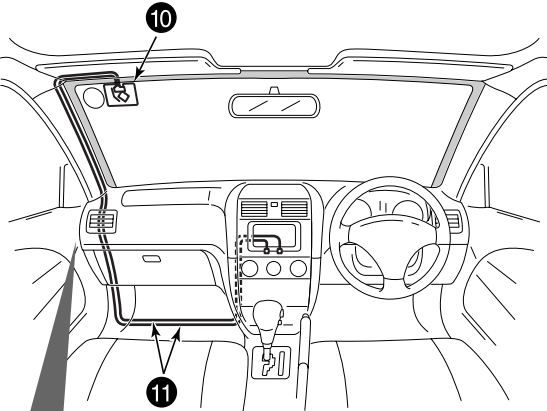
取付と配線

アドバイス

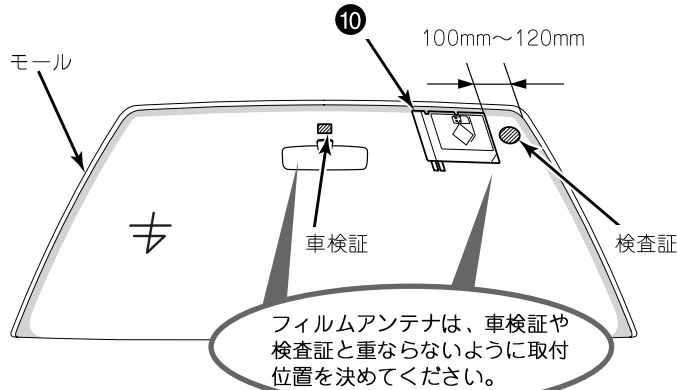
- ●フィルムアンテナは、繊細な構造になっております。折り曲げたり、傷をつけないよう慎重にお取り扱いください。
- ●フィルムアンテナ及びコードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの揮発性液体を使用して拭かないでください。
- ●フィルムアンテナは、必ずフロントガラス上部の指定された位置・寸法内に貼り付けてください。指定の場所以外へは、性能確保できませんので貼り付けないでください。
- ●フィルムアンテナを車のボディ、ピラー等の金属に近づけて貼り付けると受信感度が低下する場合があります。
- ●フィルムアンテナは、指定通りの貼り付けで性能が確保できるようになっています。左右逆に貼り付けると性能が低下する場合があります。
  左ハンドル車でもフィルムアンテナ（左）の貼付位置は、変わりません。
- ●フィルムアンテナは、一度貼り付けると貼り直しできません。貼付位置を十分に確認して作業を行ってください。
- ●フィルムアンテナは、付属のクリーナーで貼付位置の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから貼り付けてください。
- ●気温が低い（20℃以下）時は、フィルムアンテナの粘着力の低下を防ぐため車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントウインドウを暖めてから貼り付けてください。
- ●フロントガラスが熱線反射タイプまたは熱線吸収タイプ、ミラータイプのカーフィルムを貼っている場合、電波を通さないなど、受信感度が低下する場合がありますのでご注意ください。
- ●フィルムアンテナはワイパー動作やエアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなることがありますが故障ではありません。
- ●テレビ、ラジオ等の送信、中継アンテナの近くや、山陰や送信所から遠いところなどの電波状況の悪いところでは、画像などが乱れる場合があります。

フィルムアンテナ取付配線概要図

❗ 取付説明書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。必ず指示通りに取り付けてください。

⚠ お車のフロントガラスにAM/FMラジオアンテナが内蔵されている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように貼り付けてください。

コード配線時は、内装トリムを取り外します。

取り外し作業が困難な場合は、車のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください。（作業工賃は、お客様にご負担いただく場合があります。）

アドバイス

車両**外側**からフロントガラスを見た図です。

1 フィルムアンテナの貼付位置を決める

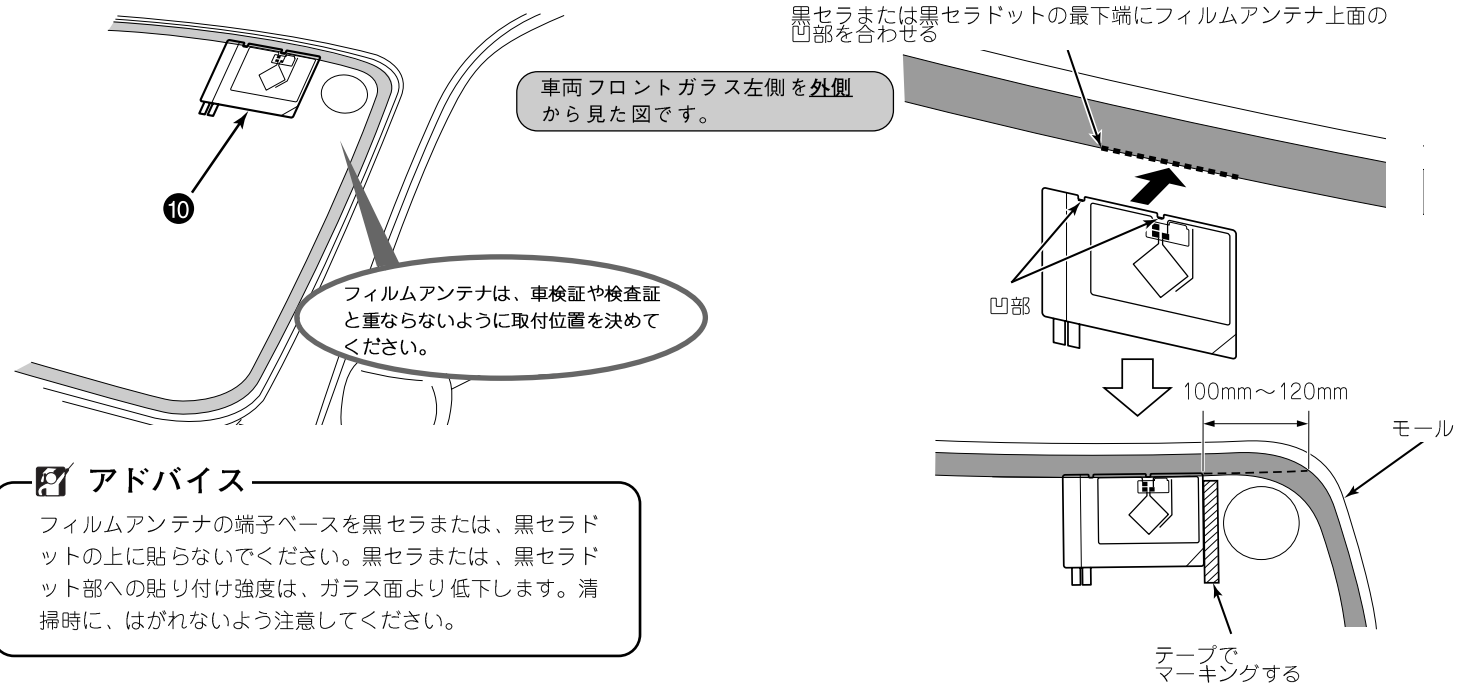
① **フロントガラスの外側にフィルムアンテナをあてる。**

- ●フィルムアンテナのセパレータおよびフィルムシートをはがさないでください。
- ●図は左側作業を表しています。

② **フィルムアンテナの凹部の底辺を車両の※黒セラまたは※黒セラドットの最下端に合わせる。**

※黒セラ　　　：黒色セラミックラインの略。
　　　　　　　　フロントガラス端の黒い色部分。
※黒セラドット：黒色セラミックドットパターンの略。
　　　　　　　　フロントガラス端の黒色のドット部分。

③ **フィルムアンテナの左右方向をテープ等でマーキングする。**

- ●モールから100mm～120mmの位置にマーキングしてください。
- ●テープはフロントガラスに跡形が残らないもの（ビニールテープ等）を使用してください。

アドバイス

フィルムアンテナの端子ベースを黒セラまたは、黒セラドットの上に貼らないでください。黒セラまたは、黒セラドット部への貼り付け強度は、ガラス面より低下します。清掃時に、はがれないよう注意してください。

2 フィルムアンテナを仮止めする

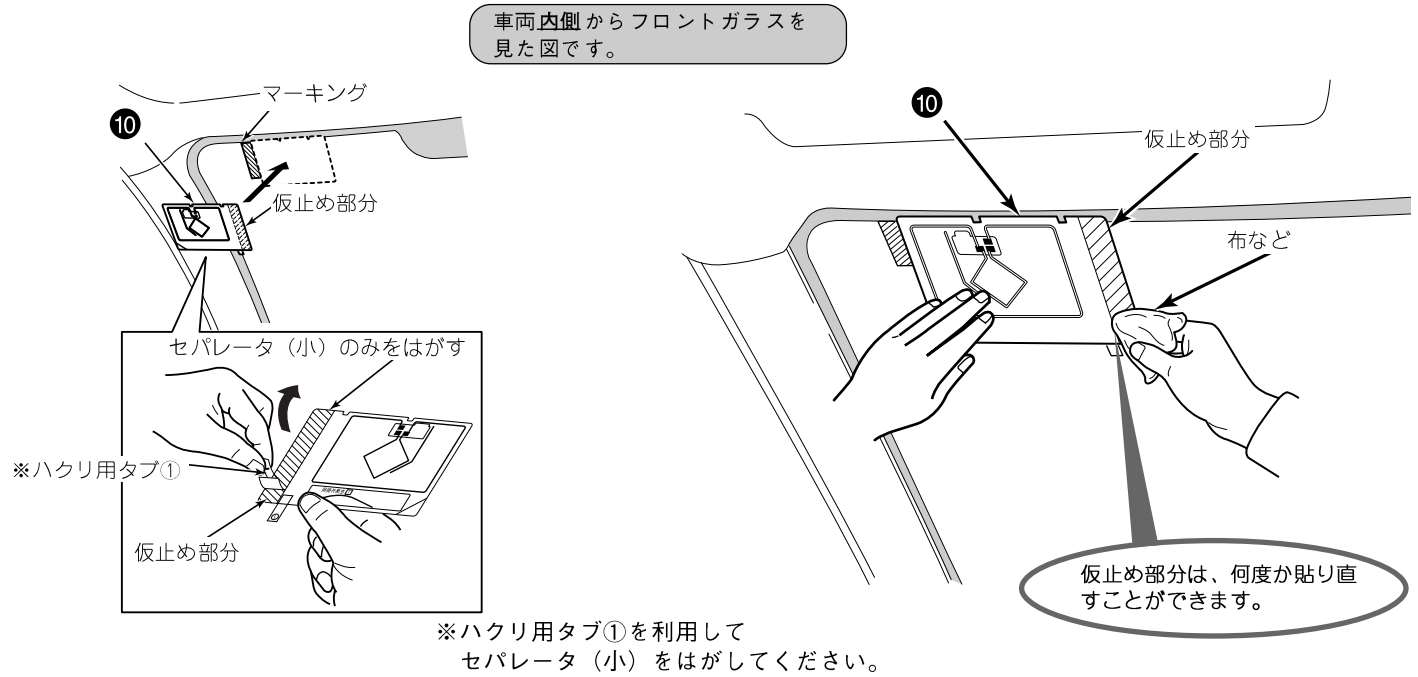
① **フィルムアンテナを取り付ける前にフィルムアンテナ貼付部のフロントガラス面を付属のクリーナーで汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。**

② **フィルムアンテナからセパレータ（小）をはがす。**

③ **マーキングに合わせ、フロントガラス（室内側）に仮止めする。**

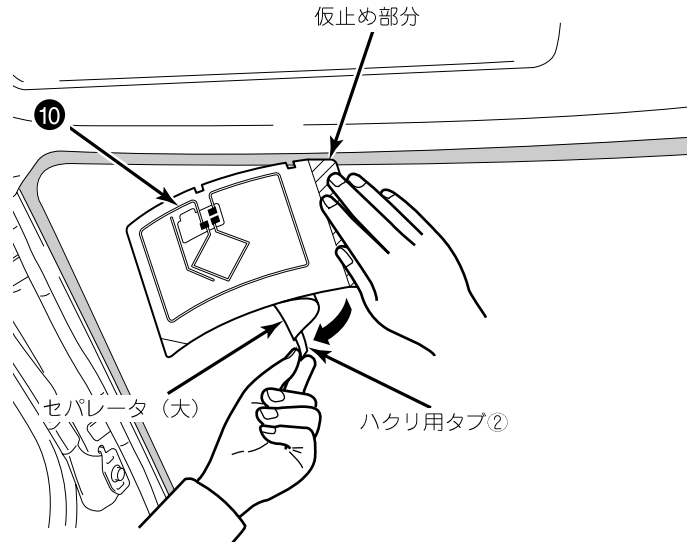
- ●仮止め部分を布などでこすって固定してください。

⚠ 注意	セパレータ（大）：ハクリ用タブ②側は、はがさないでください。フィルムアンテナの仮止めをする前にセパレータ（大）をはがすとフィルムアンテナを正しく貼ることができません。

※ハクリ用タブ①を利用して
　セパレータ（小）をはがしてください。

3 フィルムアンテナをフロントガラスに貼り付ける

① **フィルムアンテナからセパレータ（大）をはがす。**

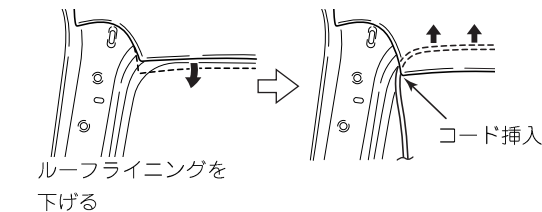
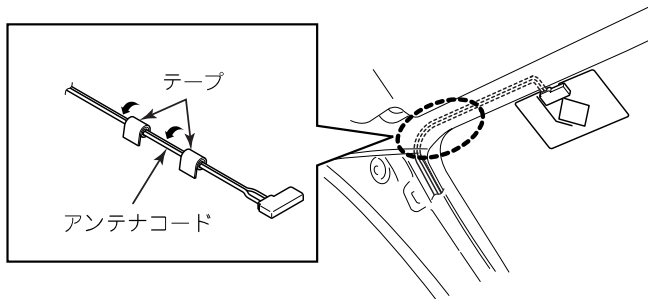
- ●仮止め部分を手で押さえながらセパレータ（大）をはがしてください。
- ●アンテナパターンがフィルムシートから浮かないようにセパレータ（大）をゆっくりはがしてください。
- ●セパレータ（大）を少しずつはがしながらフィルムアンテナをフロントガラスに貼り付けてください。

② **フィルムアンテナをフロントガラスに貼り付ける。**

お願い

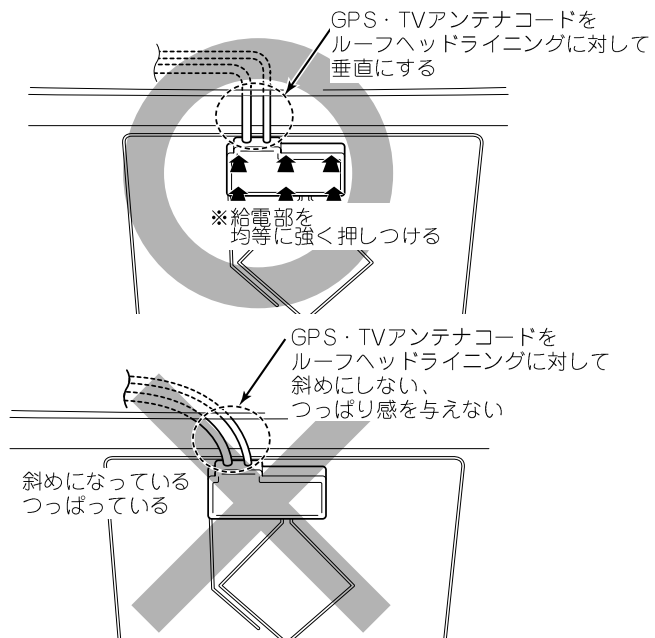
●GPS・ワンセグTVアンテナコードのコネクター色および取付先を確認してください。

アドバイス

●アンテナコードを強く引っぱたり、負荷をかけたりかみ込み等がないようにしてください。ルーフライニングからはみ出す場合は、テープを巻き付けてルーフライニング内に収めてください。

●ルーフライニングに無理な力を加えて折り曲がらないよう注意してください。

アドバイス

●給電部をしばらくの間、均等に押しつける事で両面テープの粘着力が向上します。

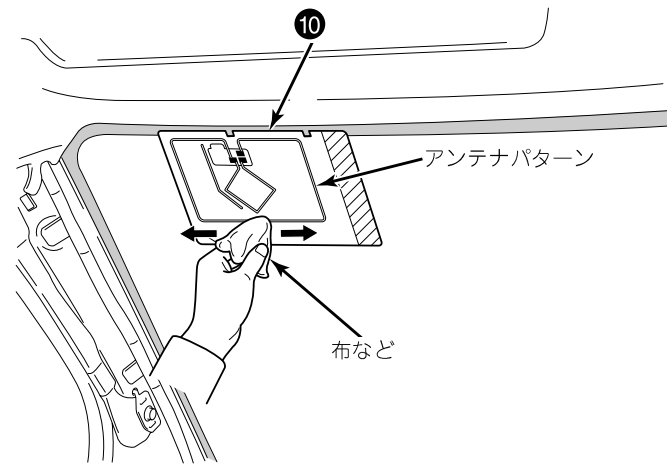
GPS・TVアンテナコードの配線上の注意

4 アンテナパターン部を定着させる

① フィルムアンテナのアンテナパターン部を布などでこすってガラス面に定着させる。

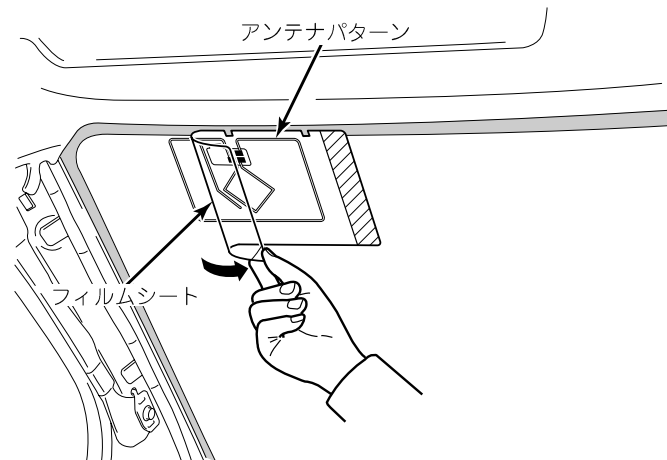
●シワや傷がつかないようにフィルムシートの上からアンテナパターン部を数回程度こすってください。

注意	アンテナパターン部をこする際は、ヘラなど固いものを使用しないでください。 アンテナパターン部の破損の原因になります。

⑩ アンテナパターン

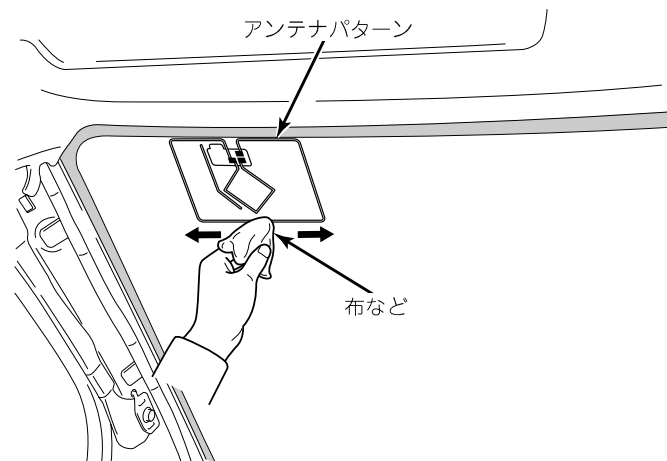
布など

5 フィルムシートをはがす

① フィルムシートを角から180˚折り返すようにゆっくりと矢印方向にはがす。

●アンテナパターンがフィルムシート側に残る場合は、手順**4**からやり直してください。

6 アンテナパターンを定着させる

① アンテナパターンを布で押さえて、ガラス面にしっかりと定着させる。

●アンテナパターンにシワや傷がつかないように注意して作業を行ってください。

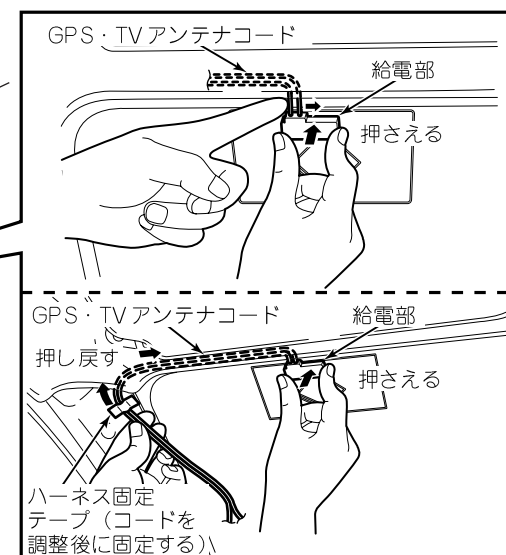
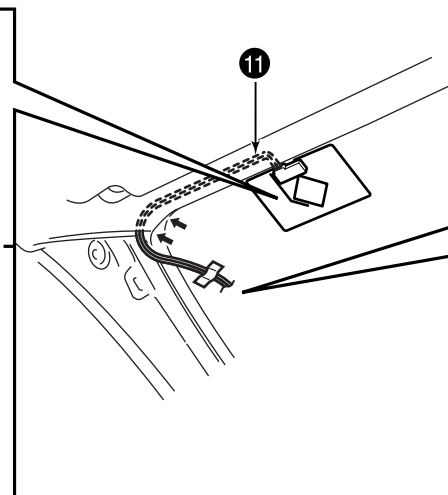
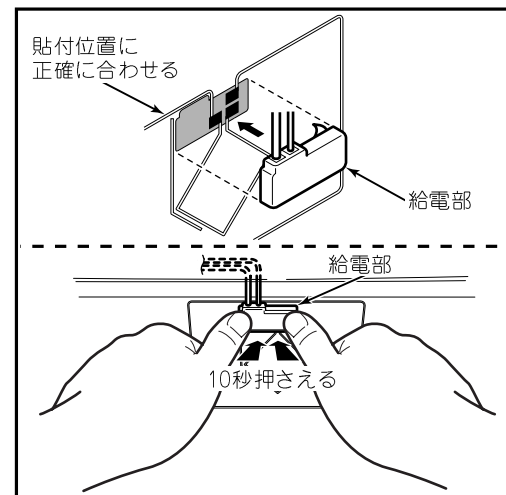
●マーキングしたテープを取り外してください。

7 GPS・ワンセグTVアンテナコードの給電部をフィルムアンテナの端子ベースに貼り付ける

① 給電部をフィルムアンテナの貼付位置に合わせて正確に貼り付ける。

② 給電部を、約10秒間両手で均等に強く押し付ける。

③ 給電部を手で押さえながらGPS・TVアンテナコードをルーフヘッドライニングに対して垂直になるように指で調整する。

④ 給電部を手で押さえながらGPS・TVアンテナコードをルーフヘッドライニングの端から押し戻す。

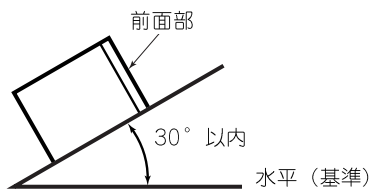
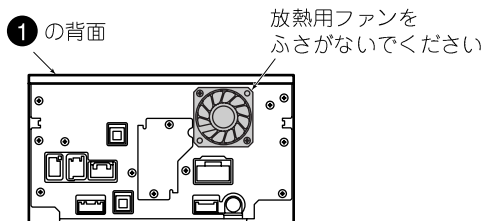
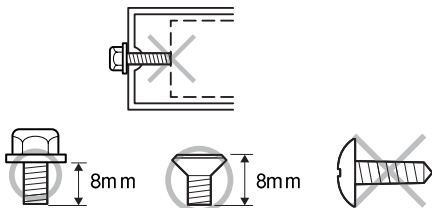
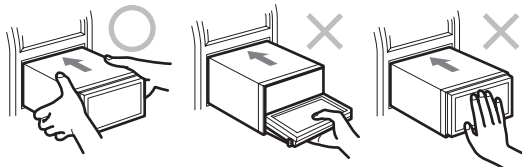
⑤ GPS・TVアンテナコードがルーフヘッドライニングに対して垂直になっている事を確認する。

アドバイス

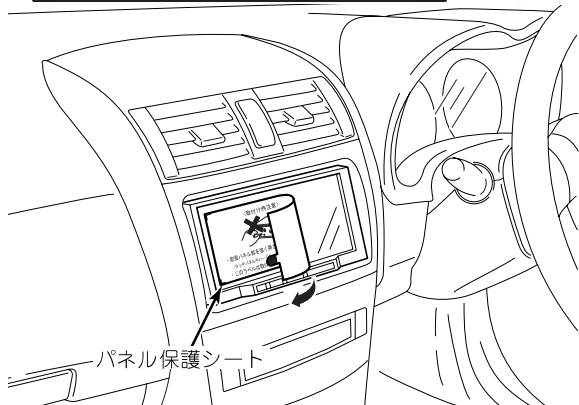
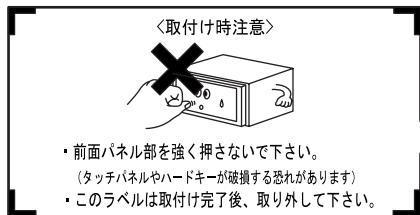
・粘着力が低下するため、給電部を貼り直さないでください。

・給電部を貼り付ける際、手が給電部の両面テープや、貼付位置にふれないように注意してください。

お願い

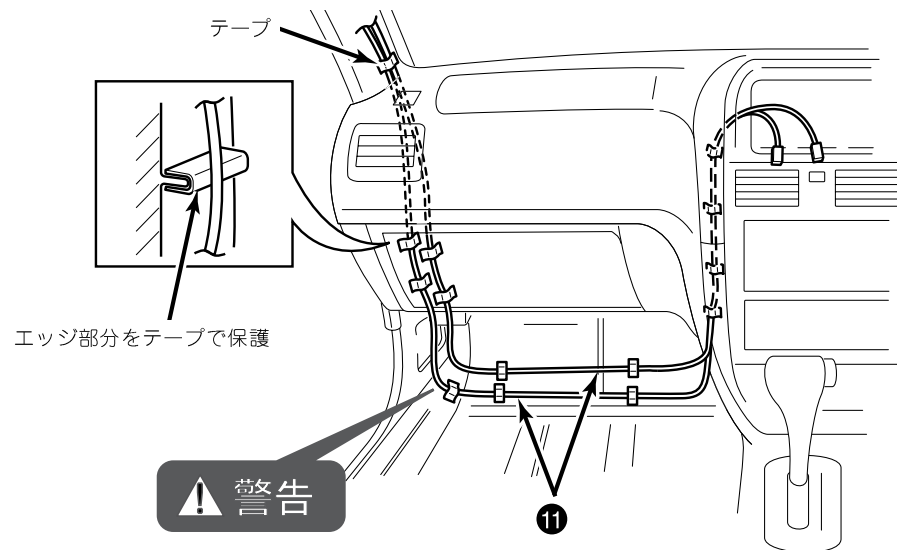
●センターコンソールの形状によっては、シフトレバーなどに接触する場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

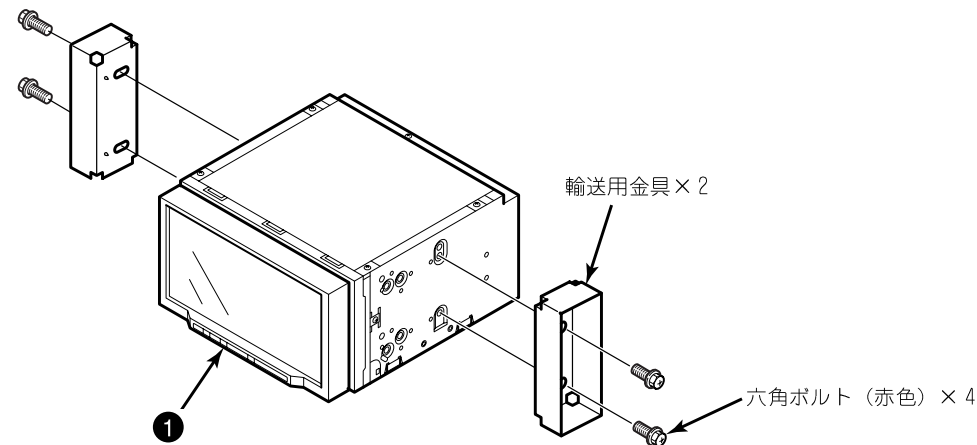
●水平に対して、30°以内の角度で取り付けてください。
自車位置ズレや音飛び・イジェクト不良等の原因になります。

●放熱用ファンをふさがないでください。
本製品は、従来製品と比べ製品の奥行き寸法が長いため放熱を妨げないようメインユニット取り付けの際は、背面のファンを車両ハーネス等でふさがないように注意してください。

●必ず付属のねじを使用してください。
取付ねじは、必ず付属のねじ（赤色/M5×8）を使用してください。指定以外のねじを使用すると機器の内部が損傷するおそれがあります。

●ディスプレイを手で押さえないでください。
車に取り付ける際、メインユニットのディスプレイ（表示部）やボタンを強く押さないでください。ディスプレイ（表示部）やボタンが破損する恐れがあります。

●パネル保護シートはメインユニットを車両に取り付け、動作確認後に取り外してください。
ディスプレイに傷を付ける恐れがあります。

［パネル保護シート］

8 GPS・ワンセグTVアンテナコードを配線する

① GPS・ワンセグTVアンテナコードをテープで固定しながらオーディオ取付位置まで配線する。

●車両エッジ部を避けて配線してください。干渉する場合は、エッジ部分にテープを貼り付けてください。
●車両内装トリムを復元した際、コードのかみ込みが無い事を確認してください。

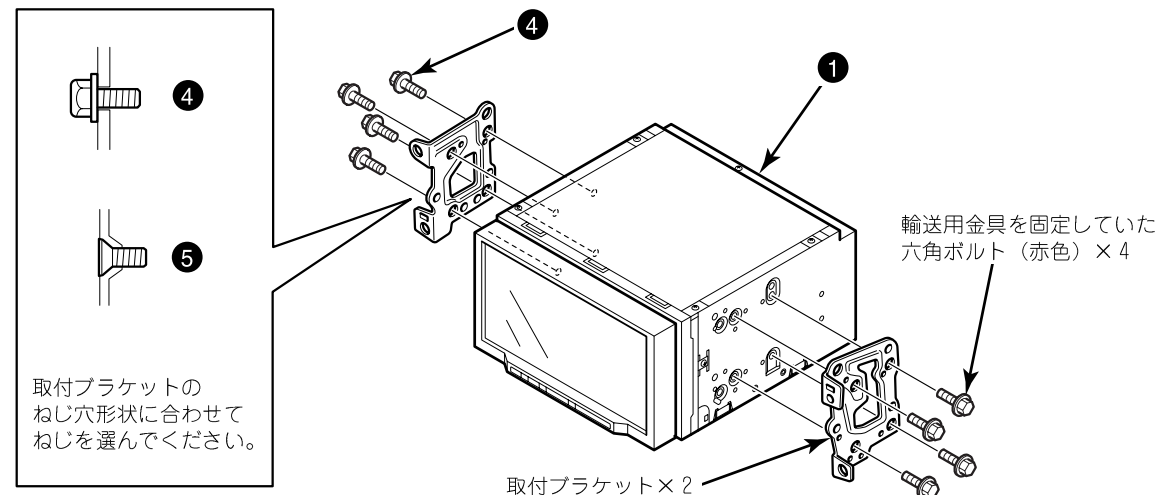
注意	余ったコードをまとめる時は、製品から30cm以上離してください。ナビの性能に影響する場合があります。
警告	コード類は、乗降等の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。可動部等に巻き付くと事故の原因となり危険です。

9 輸送用金具を外す

●取り外した六角ボルト（赤色）はブラケットの取り付けに使用しますので大切に保管してください。
●メインユニットから輸送用金具を取り外してください。

10 メインユニットにブラケットを取り付ける

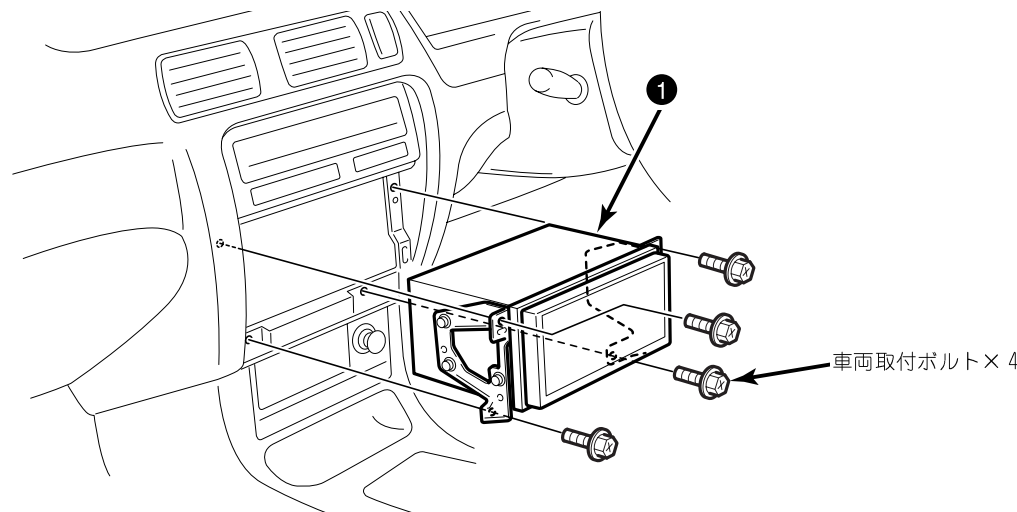
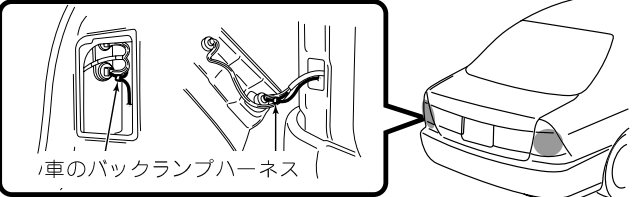
① 車のオーディオ、小物入れなどを取り外す。

② オーディオ、小物入れなどを取り付けているブラケットを取り外す。

●オーディオの取り外し方、取り外すねじの位置や数、使用する取付ブラケットは、車種により異なります。
詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。

③ メインユニットにブラケットを取り付ける。

11 メインユニットを車両に取り付ける

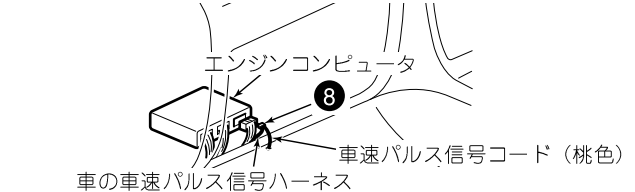
① メインユニットを車に取り付ける。

●メインユニットを取り付ける前に各コードを接続してください。

接続のしかた

お願い

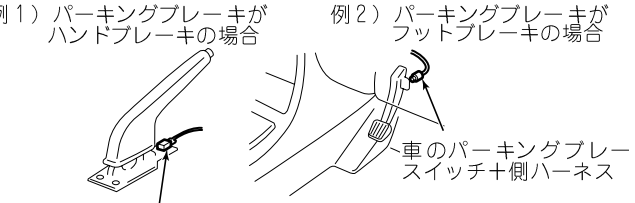
●信号の取り出し位置は、車種やグレードにより異なります。詳しくは、お買い上げの販売店または自動車ディーラーにお問い合わせください。
●必ず付属のショートコネクタを使用して接続してください。指定外のショートコネクタを使用すると接触不良の原因になります。

リバース信号端子（紫／白色）

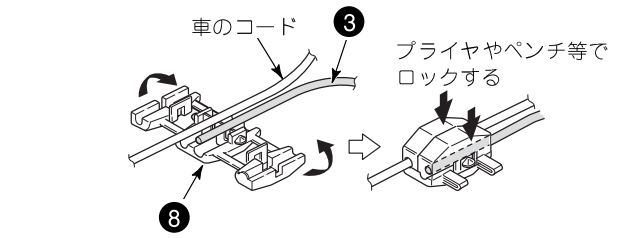
車のバックランプハーネス等（シフトレバーを「R」の位置にしたときに電圧が変化するハーネス）に接続してください。

●シフトレバーを「R」にした時に６Ｖ以上の検知電圧値になることをテスターで　確認してください。

※リバース信号端子を接続しないと車両を後退させた際に自車位置のズレが発生する恐れがあります。

車速パルス信号端子（桃色）

車の車速パルス信号ハーネスに接続してください。

※車速パルス信号端子を接続しないと測位精度が大幅に低下します。

パーキングブレーキ信号端子（若草色）

車のパーキングブレーキスイッチの－側ハーネスに接続してください。

ショートコネクタの使用方法

ワンセグ（灰色）
GPS（緑色）
❶　❷　❸　❽　❿　⓫
1P（緑色）　1P（灰色）

VTR入力端子（6P）
別売の映像機器等に組み合わせる際に、別売の拡張配線キットと接続

バックアイカメラ用外部入力端子（4P）
別売のバックアイカメラと接続

5P　16P

車両ラジオアンテナ

リバース信号端子（紫／白色）
車速パルス信号端子（桃色）
パーキングブレーキ信号端子（若草色）

iPod用接続端子（16P）
別売のiPod接続ケーブルと接続

使用しません（14P）

アドバイス

接続しない端子などは、ビニールテープ等で絶縁処理をしてください。
絶縁処理をしないと誤作動の原因になります。

バッテリー電源端子（黄色）
車のキーに関係なく常時電源が加わっているところに接続

アースコード（黒色）
アースが確実に取れる車の金属部に接続

接続コードを本体に接続する前に必ずアースコードを車両側に接続してください。スピーカ端子や配線がショートしている場合、故障の原因となります。

照明用電源端子（橙／白色）
車のライトスイッチをＯＮにしたときに、電源が加わるところに接続

◆レオスタット（照度調整スイッチ）装着車の場合

照度調整により照明用電源の電圧が変動する場所にメインユニットの照明用電源を接続しないでください。接続するとライトのＯＮ／ＯＦＦにより『昼画表示』と『夜画表示』に切り替わらない場合があります。必ずスモールライトなど照明用電源の電圧が変動しない場所に接続してください。

ACC電源端子（赤色）
車のキーをＬＯＣＫかＯＦＦにすると電源供給が切れ、ＡＣＣにすると電源が加わるところに接続

オートアンテナ用電源端子（青色）
<ラジオアンテナ>
●ガラスアンテナの場合：車側のアンテナアンプ電源端子に接続
●オートアンテナの場合：車側のオートアンテナのコントロール端子に接続
●ショートポールアンテナでアンテナアンプ装着車の場合(ルーフアンテナ、マイクロアンテナなど)：車側のアンテナアンプ電源端子に接続

◆オートアンテナ車の場合

本機は緊急放送受信機能（＊1）を持っているためラジオ以外のソースを使用している場合でもアンテナは下がりません。アンテナを下げる場合は、ＡＣＣ ＯＦＦにするか、もしくは本体の「ラジオアンテナの設定」画面から操作をしてください。
（ＡＣＣ ＯＮ／ＯＦＦと連動しているためオーディオＯＦＦでもアンテナは下がりません）（☞ 詳しくは、取扱説明書を参照してください。）

＊1：
ＦＭ多重放送の緊急放送を受信したとき、自動的に緊急情報に番組が切り替わる機能です。

フロントスピーカ出力端子
フロントスピーカに接続
白色：左＋　白／黒色：左－
灰色：右＋　灰／黒色：右－

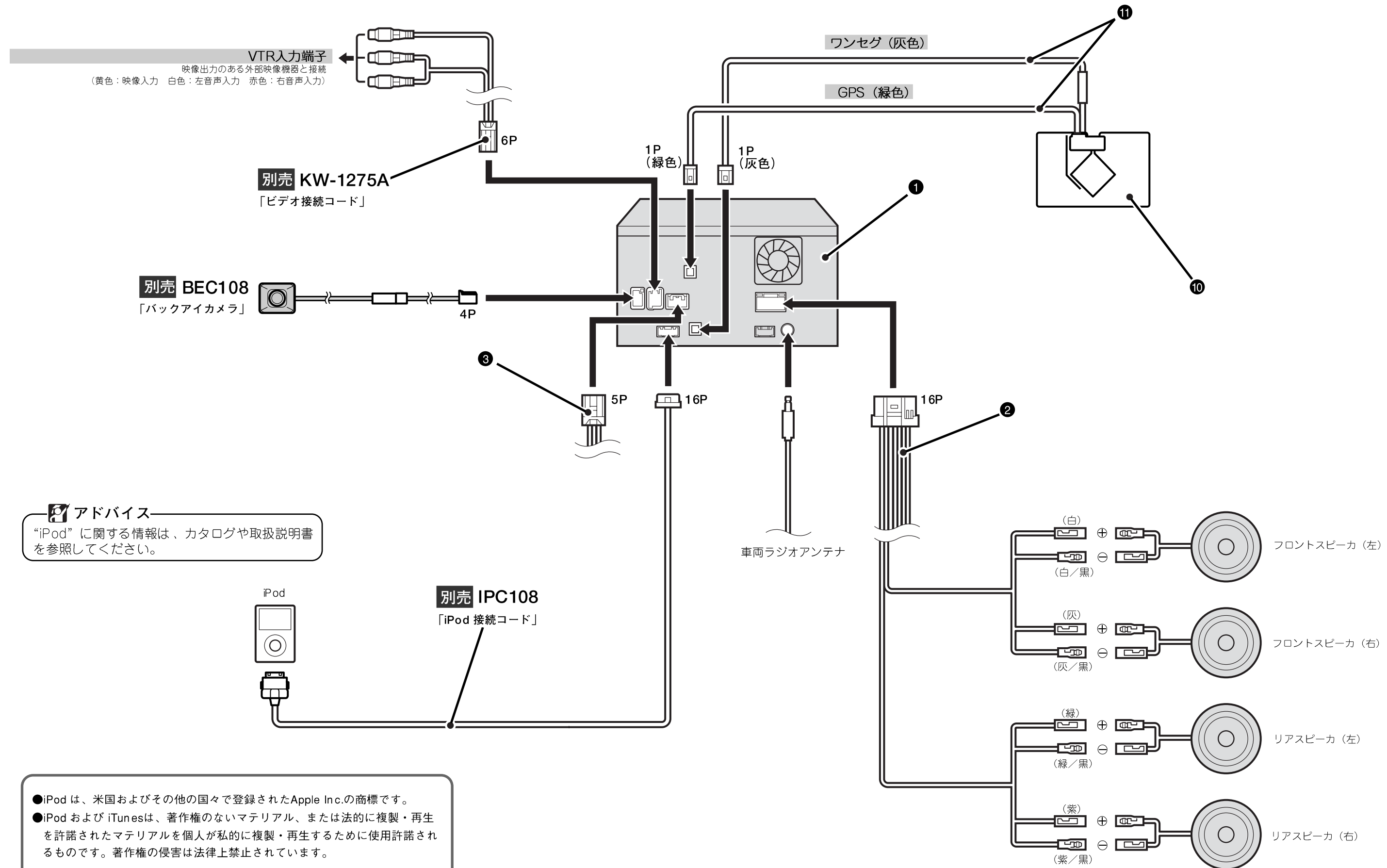
電源／アース端子には、絶対に接続しないでください。故障の原因となります。

リアスピーカ出力端子
リアスピーカに接続
緑色：左＋　緑／黒色：左－
紫色：右＋　紫／黒色：右－

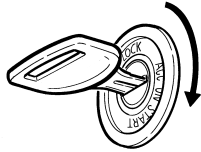
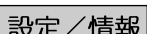
電源／アース端子には、絶対に接続しないでください。故障の原因となります。

●システム接続例

接続する機器の取付説明書を確認して取り付けおよび配線を行ってからメインユニットに接続してください。

●車両電源ハーネスとの接続には別売の車種別変換コードが必要です。詳しくは、お買い上げの販売店や自動車ディーラーにお問い合わせください。

取り付け後の作動確認

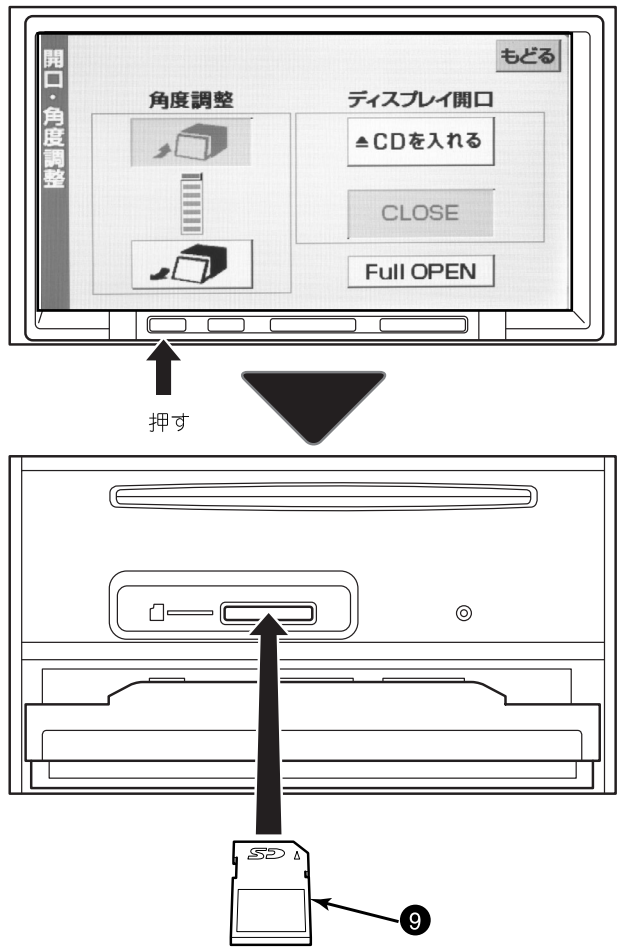
1 車のエンジンをかけオーディオメニューを表示させる

●画面左側にオーディオメニューが表示するまで、ACC OFFやメインユニットの操作をしないでください。
●シフトポジションや周囲の安全を確かめてから車のエンジンをかけてください。

2 SDカードを挿入する

① [⏏] ボタンを押す。

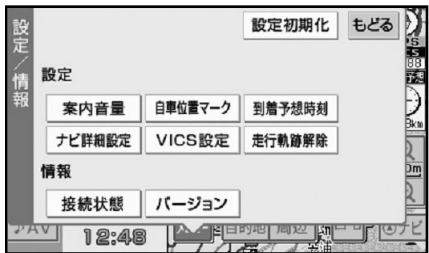
② [Full OPEN] にタッチする。

③ SDカード挿入口に、SDカードを挿入する。

●SDカードの向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで奥に入れてください。
● SDカードを取り出す際、「カチッ」と音がするまでSDカードを押し、まっすぐ引き出してください。

3 見通しの良い場所で各信号の接続状態を確認する

① [メニュー] にタッチし、[設定／情報] にタッチする。

② [接続状態] にタッチし、それぞれの接続状態を確認する。

設定／情報画面

接続状態画面

お願い

●車速パルス

接続状態画面で走行すると走行状態を確認することができます。
表示が変わらないときは、車速パルスの接続状態を確認してください。

●GPS受信感度

しばらく経ってもGPS情報の表示が変わらないときは、GPSアンテナの接続状態を確認してください。

●パーキング信号

パーキングブレーキがかかっている場合、表示が “ON” に、パーキングブレーキがかかっていない場合、表示が “OFF” に変わります。表示が変わらないときは、パーキングブレーキ信号の接続状態を確認してください。

●リバース信号

バックギヤ以外にシフトしている場合、表示が “OFF” に、バックギヤにシフトしている場合、表示が “ON” に変わります。表示が変わらないときは、リバース信号の接続状態を確認してください。

090003-3099B700
0911PW（CN）